

まほろば秦野通信

令和5年6月16日

タイトル	～ふるさと秦野を学ぶ子どもたち～ 震生湖誕生100年ふるさと科プロジェクトの授業を実施します
When (いつ)	6月23日(金曜日) 10:40～11:25
Where (どこで)	本町小学校 3年3組(29人) (所在地: 秦野市文京町1-5)
Who (だれが)	講師: 生涯学習課文化財・市史担当職員
What (なにを)	誕生から100年を迎える震生湖について詳しく学ぶため、市職員を講師とした出前授業を実施します。
How (どのように)	
Why (なぜ)	<p>市教育委員会では、秦野の特色ある教育活動として「ふるさと科」のカリキュラム策定に着手しており、震生湖を誕生100年を迎えることをきっかけに、昨年度から各校に学習資源としての活用を呼びかけてきました。</p> <p>このような中、震生湖周辺の小・中学校(南小学校、南中学校、南が丘小学校、南が丘中学校、本町小学校)では、「震生湖」をテーマに文化財・地質・自然遺産・防災など、それぞれの視点で今年6月から学習に取り組むこととなりました。</p> <p>【震生湖について】</p> <p>国内で7件ある「動物 植物 地質鉱物 関係の国登録記念物」のうち、唯一の湖で地質遺産となります。</p> <p>また、震生湖の下流にある学術的にも貴重な地質遺産の「<small>いち</small>市<small>きさわ</small>木沢の露頭」は、地盤変動の痕跡を観察することができ、震災遺構として防災教育の観点からも貴重なふるさと秦野の学習資源です。</p>
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・9月開催の記念式典において、南小学校が学習成果を発表 ・横浜国立大学で9月開催される「ぼうさいこくたい2023」に、本町小学校と、南が丘小学校がパネル展示で参加予定 ・9月下旬から開催する「こどもの市展」等、さまざまな機会を活用して学習成果を発表予定
問い合わせ	教育研究所 教育研究担当: 相澤 電話: 0463(77)1843